



成溪會誌

1988·6

No.67

# 成蹊学園近況

(成蹊学園  
総務課提供)

## 大学の近況

### ◇アジア太平洋研究

#### センター活動状況

「アジア太平洋地域に関連する各分野の学際的・国際的共同研究の推進、その研究成果の社会への還元、および国際学術交流の促進」を目的として、昭和五十六年に開設された研究センターも、本年度で七年目を迎えました。

発足当初から、「アジア太平洋研究センター」という名が示しているとおり、今後、我が国および世界における学問の発展のため、ますます大きな役割を果たしていくことになると考えられるアジア太平洋地域研究を主眼として活動してきましたが、これは、何もこの地域の研究に直接関連する分野にとどまらず、およそこの地域研究の発展に寄与する学問分野はすべて対象として取り扱い、学際的・国際的研究を遂行していくということです。

開設時に掲げられた、研究センターの目的を達成するための事業——「研究プロジェクトの助成」「国際学術活動に対する助成」「セミナー・シンポジウム・公開講座等の開催」など七項目——も、すでにそのほとんどが実際に着手され、また軌道に乗っています。

昭和六十三年度に実施予定の研究プロジェクトは、下表のとおりです。

### ◇四大学運動競技大会

第三十八回四大学運動競技大会が、本学を主催会場として、十月二十三日(金)から十月二十五日(日)の三日間にわたり開催されました。

その結果、本学は、正式種目第三位、一般種目第二位で総合第二位の成績を収めました。惜しくも総合優勝は成りませんでした。硬式庭球・アーチェリー等で優勝するなど健闘し、当番校としての面目を保ちました。

共同研究プロジェクト			統合プロジェクト			プロジェクト	研究題目
(3)佐藤プロジェクト	(2)小島プロジェクト	(1)村松プロジェクト	○東南アジア研究	○中国研究	○オーストラリア研究		
			東南アジア諸国の工業化と国際貿易の変化の研究	小城镇産業化に関する日中比較			
			アジア太平洋地域における産業発展と国際台弁企業の役割				
			アジア太平洋地域における砂漠化に関する調査、解析および緑化法の開発				
			タイ近代化と日タイ関係				

### ◇就職状況

昭和六十二年度は、後半に入っ景気回復基調を背景に雇用情勢が好転の兆しを見せ、全体として売手市場としての色彩が前年度より濃くなりました。

本学について言えば、産業別で

は、経済・文・法の文科系学部は、金融・保険業への就職率の伸びが目につき、ことに証券業、その中でも女子の大幅増が目立っています。工学部では、円高に伴う産業構造の調整を反映して、一方では、製造業への就職率が大幅に減少し、他方、商業・金融業等、非メーカー業種の

昭和62年度（昭和63年3月卒業）高等学校卒業生の主な進路

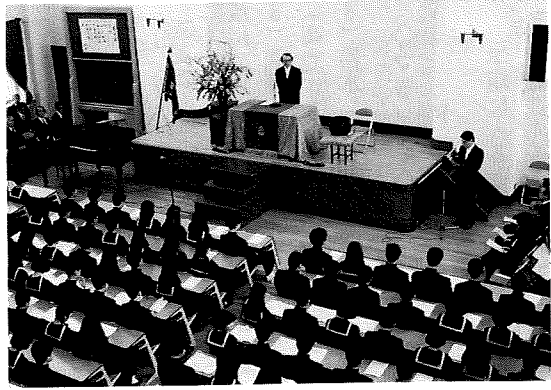
卒業生総数	321	進学者数	211	その他（予備校等）	110
-------	-----	------	-----	-----------	-----

進学者数内訳

1. 成蹊大学	158	2. 国公立大学	9	3. 私立大学	43	4. 短期大学他	1
---------	-----	----------	---	---------	----	----------	---

主な進学先（昭和63年3月およびそれ以前の卒業生を含む）

大学名		入学数	大学名		入学数	大学名		入学数
成蹊大学	経済学	72	公立大学	都立科学技術大学	1	私立大学	北杏	1
	工学	26		立科	1		里林	1
国立大学	学部	35	私立大学	大工	16	大工	1	
	学部	26		早稲田	10	大工	1	
	学部	2		慶応	8	大工	1	
	学部	2		日大	7	大工	1	
	学部	2		上野	4	大工	1	
	学部	1		青中	4	大工	1	
	学部	1		東中	4	大工	1	
	学部	1		明大	4	大工	1	
	学部	1		津大	3	大工	1	
	学部	1		東大	2	大工	1	
	学部	1		駿成	2	大工	1	
	学部	1		東大	2	大工	1	
	学部	1		麻布	2	大工	1	
	学部	1		岩手	1	大工	1	
	学部	1		岩手	1	大工	1	
	学部	1		岩手	1	大工	1	



卒業生は、男子百五十五名、女子九十名、計二百四十五名でした。中学校の卒業生の大部分は成蹊高等学校に進学し、高等学校の卒業生の全員が大学進学を目指しました。大学への進学状況は上表のとおりです。

◆**中学・高等学校の入学式**

四月八日（金）は、八十年ぶりという雪に見舞われた入学式でした。五分咲きの桜と、十センチ近く積もった雪、春の景色としては一度も見たことのない珍しい光景でしたが、式の方は予定どおり挙行されました。

◆**中学校修学旅行宿舎変更**

中学校では、これまで長い間利用していた修学旅行の宿泊所を、本年から変更しました。卒業生の方々が京都で泊まられたのは富小路の「日昇別荘」でした。本年からは、奈良の猿沢の池近くの旅館「ホテル大和

松田満夫新校長の式辞は、新入生一人一人に、「自立」の時、「立志」の時を告げるものでした。中学生には、成蹊中学校生徒としての「自立する逞しい心、豊かな可能性を秘めた心の力」を養うために一生懸命努力することを願い、具体的な注文として、読書する中学生になるよう呼びかけられました。

また、高等学校の新入生には、論語の孔子の言葉を引用し、今が「立志」の時、志は常に高く、「独立自尊の精神」を貫いてほしいこと、成蹊の校歌「昨日の吾を超えし……共に向上の吾らの姿」を求めるのが成蹊精神の真髄であると述べられました。

なお、本年度の高等学校への入学者は、男子二百六名、女子百三十七名、計三百四十三名。中学校入学者は、男子百五十六名、女子八十一名、計二百三十七名でした。

進出が目につきます。四学部全体としての上場企業への就職率は五六%であり、昭和六十二年全日本統計による上場企業への就職率は三五%に比べ、本学の就職内容が、いかに高い割合で優良企業に進出しているかを裏付けています。

（成蹊大学 学長室）

昭和62年度就職先主要企業

(63. 3. 31現在)

企業名	就職者数			企業名	就職者数		
	経・文・法	工	計		経・文・法	工	計
日興証券	16	1	17	伊勢丹	1	2	3
沖電気工業	7	6	13	住友生命保険	3		3
大和証券	9	2	11	大正海上火災保険	3		3
三菱信託銀行	11		11	大和銀行	3		3
富士通	6	4	10	千葉銀行	3		3
日本航空	9		9	東京銀行	2	1	3
日本電気	3	6(1)	9(1)	東芝	2	1(1)	3(1)
三菱電機	5	4(2)	9(2)	日商岩井	3		3
山一証券	3	6	9	日本交通公社	3		3
鹿島建設	7	1	8	日本通運	3		3
トーマス	7	1	8	日本ビクター	1	2	3
丸井	5	3	8	マツダ	2	1	3
住友信託銀行	7		7	三井信託銀行	3		3
日本勧業角丸証券	6	1	7	三菱金属	3		3
安田信託銀行	7		7	三菱鋁業セメント	2	1	3
住友商事	6		6	三菱樹脂	3		3
ダイヤモンドリース	6		6	安田火災海上保険	3		3
大日本印刷	5	1	6	ライオン	3	(1)	3(1)
T D K	5	1	6	レナウン	3		3
東京相互銀行	6		6	旭化成工業	2		2
富士銀行	6		6	I N A X	2		2
三井銀行	5	1	6	いすゞ自動車	1	1	2
三菱自動車工業	2	4	6	オリエンツ・リース	2		2
明治生命保険	5	1	6	キリンビール	2		2
新日本証券	3	2	5	協和銀行	2		2
凸版印刷	5		5	資生堂	2		2
日本信販	5		5	全日本空輸	2		2
日本電信電話	1	4(2)	5(2)	大昭和製紙	1	1	2
野村証券	5		5	大洋漁業	2		2
雪印乳業	4	1	5	太陽神戸銀行	2		2
近畿日本ツーリスト	4		4	高島屋	2		2
清水建設	3	1(1)	4(1)	千代田化工建設		2	2
住友海上火災保険	4		4	トヨタ自動車	2		2
住友銀行	4		4	東京電力	1	1(1)	2(1)
西武百貨店	4		4	日本光学工業	2	(1)	2(1)
積水ハウス	3	1	4	日本生命保険	2		2
大日精化工業	3	1(1)	4(1)	日本長期信用銀行	2		2
電通	3	1	4	日本貿易振興会	2		2
東京海上火災保険	4		4	服部セイコー	2		2
富士ゼロックス	3	1(1)	4(1)	日立製作所		2	2
三井物産	4		4	富士電機		2	2
三菱銀行	4		4	北海道電力	2		2
横河電機	1	3	4	松下電器産業	1	1	2
横河ヒューレットパッカード	3	1	4	三菱商事	2	(1)	2(1)
旭硝子	3		3	三菱油化	2		2

( ) 内は大学院生で外数

中学・高等学校の近況

◆**役職者の交代**

中学・高等学校では、横手長治校長の任期満了に伴い、本年四月一日から、松田満夫教諭が新校長に就任しました。また、それに伴って次のとおり役職者の交代がありました。

中学校教頭兼高等学校教頭 渡辺 一郎  
 中学校教頭兼高等学校教頭 横地 孝  
 中学校教務主任 吉崎 純二  
 高等学校教務主任 (※) 小宮山則信  
 中学校生活主任 (※) 二瓶 晃一  
 高等学校生活主任 山戸 竹男  
 中学校生活主任 (※) 岩崎 洋治  
 中学校国際特別学級主任 松田 淳一  
 (※) 印は留任

◆**中学・高等学校の卒業式**

三月十二日（土）には高等学校の卒業式、三月二十日（日）には中学校の卒業式が挙行されました。高等学校の卒業生は、男子二百三名、女子百十八名、計三百二十一名。中学校の



在学生及び教職員数

(63. 5. 1現在)

所 属	在 学 生 数			教 職 員 数			
	男	女	計	専 任	非常勤	計	
大 学 院	工 学 研 究 科	73	0	73	/	/	
	経 済 学 研 究 科	0	1	1			
	法 学 政 治 学 研 究 科	13	1	14			
	文 学 研 究 科	0	8	8			
経 営 学 研 究 科	9	3	12				
学 部	学 経 済 学 長 部	-	-	-	1	} 316	
	工 学 部	1,459	337	1,796	46		
	文 学 部	1,219	108	1,327	92		
	法 学 部	268	1,406	1,674	42		
	法 学 部	1,239	364	1,603	39		
小 計	4,280	2,228	6,508	220	316	536	
高 中 小 養 護 学 校 校 校 校 論	学 校	622	421	1,043	48	14	62
	学 校	478	280	758	42	18	60
	学 校	446	273	719	32	5	37
養 護 教 諭	-	-	-	6	-	6	
事 務 ・ 技 術 ・ 労 務 職 員	/			194	-	194	
合 計	5,826	3,202	9,028	542	353	895	

昭和63年度入学試験状況

(63. 3. 31現在)

	募集人員	志 願 者	合 格 者	補 欠 者 合 格 者	入 学 手 続 完 了 者	成 蹊 各 学 校	外 部 高 校
						か ら の 推 薦 入 学 者	か ら の 推 薦 入 学 者
大 学	経済学部	400	7,447	882	0	358	72
	工学部	280	5,085	543	0	313	25
	文学部	390	4,343	777	120	318	35
	法学部	350	5,964	773	0	382	26
	計	1,420	22,839	2,975	120	1,371	158
高 等 学 校 中 学 校 小 学 校	約110	646	150	17	101	241	/
	約110	568	117	7	105	132	
	114	680	114	20	114	-	

(注) 高等学校・中学校・小学校における入学手続完了者数は、入学手続完了後の入学辞退者を除いた数

(海外帰国子女関係)

大学・高等学校

大 学	志 願 者		合 格 者	
	志 願 者	合 格 者	志 願 者	合 格 者
経済学部	26	10(5)		
工学部	4	2(1)		
文学部	41	9(3)		
法学部	11	7(2)		
高等学校	108	46(21)		

中学校 (国際特別学級)

	志 願 者		合 格 者	
	志 願 者	合 格 者	志 願 者	合 格 者
1年	41	11(11)		
2年	15	3(2)		

小学校 (国際特別学級)

	志 願 者		合 格 者	
	志 願 者	合 格 者	志 願 者	合 格 者
5年	24	8(8)		

( ) 内は入学手続完了者

成蹊会報告

昭和62年11月1日  
昭和63年4月30日

一、会 議

○理事会

第99回理事会(63・3・30)

- (1) 昭和63年度成蹊会事業計画・収支予算案承認の件
- (2) 成蹊学園評議員選任の件 その他(報告)
- (3) 成蹊会50周年記念事業について(中間報告)

○同窓会

- (1) プレメ同窓会総会(62・11・14)
- (2) 法学部委員会(62・11・25)
- (3) 法学部委員会(63・1・26)
- (4) 経済学部委員会(63・3・23)
- (5) 法学部委員会(63・3・25)
- (6) 文学部委員会(63・4・3)
- (7) やよい会総会(63・4・23)
- (8) 法学部委員会(63・4・26)

二、人 事 (○印新任)

○成蹊学園理事(卒業生関係)

(1) 成蹊学園評議員会推薦 八名

- 石坂泰彦(政経1) 河野義克(旧高6) 丹治道生(旧高4)
  - 岩崎寛彌(旧高23) 生野専吉(旧高6) ○永井邦夫(旧高8)
  - 梶谷 玄(高4) 谷岡喜久蔵(旧高11)
- 任期二年(昭和63年3月25日)同65年3月24日
- (2) 成蹊学園理事長推薦 理事会選任 一名
- 朝倉孝吉(旧高16)

○成蹊学園監事(卒業生関係)

赤間義洋(旧高9)

○成蹊学園評議員(卒業生関係)

任期三年(昭和63年3月25日)同66年3月25日

- (1) 同窓生団体選任 十二名
  - 板倉 喜一(小22) 小学校同窓会会長
  - 小川 孝一(経2) 経済学部同窓会会長
  - 岡田 健(工2) 工学部同窓会会長
  - 梶谷 玄(高4) 高等学校同窓会会長
  - 倉島 喜一(文4) 文学部同窓会会長
  - 生野 専吉(旧高6) 成蹊会会長
  - 進藤 次郎(中7) 池袋同窓会副会長
  - 高橋 靖(政経6) 政治経済学部同窓会会長
  - 谷岡喜久蔵(旧高11) 成蹊会常務理事
  - 永井 邦夫(旧高8) 旧制高等学校同窓会会長
  - 畑田 正樹(法1) 法学部同窓会会長
  - 山本 龍二(医1) 医歯学進学課程同窓会会長
- (2) 任期二年(昭和63年3月25日)同65年3月24日
  - 功労者、学識経験者、父兄のうちから理事会選任 十四名
  - 青葉 翰於(実務8) 日本経済調査協議会顧問
  - 赤星 平馬(中8) 陽和産業社長
  - 赤間 義洋(旧高9) 三菱信託銀行相談役
  - 朝倉 孝吉(旧高16) 成蹊大学教授
  - 石川 六郎(旧高16) 鹿島建設取締役会長
  - 石坂 泰彦(政経1) 三菱銀行常務取締役
  - 岩崎 寛彌(旧高23) 東山農事社長
  - 上原 明(高11) 大正製薬社長
  - 緒方四十郎(旧高20) 日本開発銀行副総裁
  - 栗原美能留(中4) 成蹊学園名誉理事
  - 河野 義克(旧高6) 東京市政調査会理事長
  - 丹治 道生(旧高4) 前成蹊会長
  - 宗像 英二(旧高1) 日本原子力研究所顧問

昭和六十三年(春)叙勲・学士院賞

勲二等旭日重光章

赤間 義洋 (旧高11年卒) 元三菱信託銀行社長

勲二等瑞宝章

井本 農一 (旧高8年卒) お茶の水女子大学名誉教授

勲三等旭日中綬章

今村 和男 (旧高12年卒) 元防衛大学校教授

日本学士院賞

篠原三代平 (特別会員) 元成蹊大学経済学部教授

(敬称略・叙勲は勲三等以上・本会調べ)

安田 敬一 (政経2) 扇屋ジャスコ取締役会長

任期 (昭和63年3月25日) 同65年3月24日

三、催 事

○工学部創立25周年記念祝賀会 (62・11・21・吉祥寺第一ホテル)

工学部・工学部同窓会共催

来会者 招待者三四名、現・旧教職員五八名、卒業生二七九名

合計 三七一一名

○第65回枯林忌 (63・2・13)

成蹊学園・成蹊会共催

墓 参 巢鴨染井墓地

追悼会 三菱スポーツセンター

来会者 中村家五名、学園二名、卒業生六六名、合計九三名

○第11回成蹊桜祭 (63・4・3)

場所 成蹊学園構内

主催 成蹊桜祭実行委員会 後援 成蹊学園・成蹊会

単位 万円

	個人		法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1未満	2	1			2	1
1	434	434			434	434
2	61	122			61	122
3	46	138	1	3	47	141
5	27	135			27	135
10	31	310	3	30	34	340
11	1	11			1	11
20			1	20	1	20
30	1	30			1	30
50	1	50	1	50	2	100
100	5	500	2	200	7	700
合計	609	1,731	8	303	617	2,034
累計	618	2,031	13	375	631	2,406

四、刊 行 物

(1) 成蹊会誌第66号 (62・12・1)

(2) 学校別・学部別卒業生名簿 (62・12・1)

五、寄 付 金

○ 成蹊会50周年記念事業 (別表)

○ 育英奨学基金

堀内好郎 (政経5) 百万円

工学部同窓会 三十万円

(工学部育英奨学基金へ)

○ 学術・教育助成基金

小学校27回同窓会 二万円 (小学校基金へ)

昭和63年6月1日  
 編集兼発行人 谷岡喜久蔵  
 発行所 社団法人成蹊会  
 〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1  
 電話 0422-51-2244